



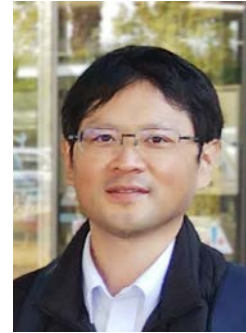
受田学長(写真中央Ⓔ)を表敬訪問する招へい学生ら

■プログラムの概要  
 プログラム初日にはオリエンテーションを行い、アイスブレイクを通じて参加学生同士の交流を図りました。続いて、農芸・食品分野に関する研究紹介が行われ、碁石茶を例とした高知県産品を題材とした研究をはじめ、植物病理学および植物栄養学の研究内容について学びました。また、学長表敬訪問を通じて、高知が抱える地域課題や各国の農業課題について再認識する機会となりました。意見交換会では、学内の留学生と交流し、国際的な視点から活発な意見交換が行われました。IOPに関する講義・実習では、施設園芸における環境制御技術や、高知県が管理・運営するクラウドシステムを活用した生産支援の仕組みについて学びました。また、実習では、小型コンピュータであるラズベリーパイ

の先端的な施設園芸やスマート農業を体験しながら学ぶ教育交流として実施しました。本学では、先端技術を活用した施設園芸やスマート農業の研究・教育を推進しており、IOPという農業データ収集や活用の仕組みを高知県の施設園芸ハウスに普及させる取り組みを進めています。IOPプロジェクトは国内にとどまらず海外展開も進められており、それに伴いIOPを担う国際人材の育成と交流の必要性が高まっています。こうした背景のもと、本プログラムを実施しました。

プログラムスケジュール	1日目	来日
	2日目	開講式、オリエンテーション 農芸化学・食品分野の講義、学長表敬訪問
	3日目	IOPに関する講義・実習、意見交換会
	4日目	施設見学 (IOP共創センター、農業技術センター、Aitosa)
	5日目	文化体験 (高知城、ひろめ市場、牧野植物園)
	6日目	水産分野のDXに関する講義 海洋コア国際研究所見学 成果報告会、修了式
	7日目	帰国

印・ベトナムから学生招へい、  
**高知の次世代型施設園芸学ぶ**  
 高知大学農林海洋科学部では、2025年12月14日から20日にかけて科学技術振興機構(JST)「さくらサイエンスプログラム」高知の次世代施設園芸(Internet of Plants (IOP)体験プログラム)を実施しました。今回、インドのマハラナ・プラタプ園芸大学、ベトナムの日越大学、ハノイ工科大学、タイグエン大学、ハノイ国立教育大学から大学生・大学院生8名を高知へ招へいしました。日本



阪田 光和  
 (高知大学 農林海洋科学部講師)

高知大学の活動報告

科学技術  
 振興機構 『さくらサイエンスプログラム』友情と感激

Ⅱ 特別連載Ⅱ

